



2014-2015
25-4-292

会 長 管井恵子
 副会長 東 康彦・三原静江
 書 記 井之上亮治
 会 計 合志禎子

2014年10月号

<http://gamohno.web.fc2.com/>



2014~2015年度主題

国際会長 (IP) Isaac Palathinkai (インド) "Talk Less Do More"
 「言葉より行動を」
 アジア会長 (AP) 岡野 泰和 (西日本区) "Start Future Now"
 「未来を始めよう、今すぐに」
 西日本区理事 (RD) 松本 武彦 (大阪西) 「響き合い、ともに歩む」
 To walk together,echoing each other」
 びわこ部部長 林 俊彦 (大津) 「みんなは一人のために、一人はみんなのために」
 200 推進に向けて 一歩ずつ進んでいこう」
滋賀蒲生野クラブ第25代会長 管井 恵子「ワイズの源流を飲み、各々の花を咲かそう」

今月の聖句

「あなたはわたしの神、
わたしの砦。」

詩編 43 : 2



「今、ワイズメンとして」

西日本区国際・交流事業主任
川本 龍資 (名古屋)

今期、国際・交流事業主任を務めさせて
いただいています、名古屋クラブの川本です。新事
業である国際・交流事業とは？事業主任の思いとは？
につきましては、8月発行されました「2014-2015西日
本区区報第1号」の14頁に記述していますので、ご一
読下さい。

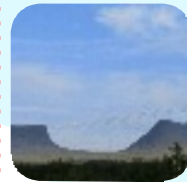
今、私がワイズメンであること、ワイズメンとして
の思いをお証しするため、私の生い立ちをご紹介させ
ていただきます。

私は、小学校4年から大学2年まで「名古屋YMCA
A少年部」に所属しYMCA活動中心の、充実した中
高生時代を過ごしました。その後、2年間の学生ユ
ースリーダーを経た後、勝手に「もうYMCAは卒業だ」
と思い込み、YMCAから離れました。就職し、長く
名古屋を離れていたせいもあって、その後は疎遠になっ
ていくばかりでした。

人生の転機は26年前。妻がキリスト教会に通い始
め、それがきっかけで、私もクリスチャンになり、教
会学校のキャンプなどで、キャンプソング等 YMCA
時代に培った賜物を用い、教会に集う子供たちの成長
を見させていただきながら、教会中心の生活(今もで
す。)を続けていました。

そして10年前、名古屋YMCA総主事に招聘され
た、加藤明宏氏(名古屋YMCA少年部時代の仲間)
の誘いを断りきれず、名古屋YMCAの常議員として
再入会(28年振り)。更にその2年後、名古屋ワイ
ズメンズクラブに入会・・・、現在に至る。
以上が私の生い立ちなのです。

自分で勝手に、卒業したと思っていたYMCA、実
は「全く卒業などしていません。そればかりか、人
生の転機であるキリストへの回心も、実は私を育てて
くれたYMCAの主事やスタッフの篤い祈りの結果で
あったと」気付いた時、唯々感謝で、言葉にできませ



10月第一例会

2014年 10月 14日(火)
19:00~21:00
ホテルニューオウミ

司会 西川 みち子
管井恵子会長

- 19:00 開会点鐘
ワイズソング
会長あいさつ
ゲスト・ビジター紹介
- 19:20 会食 ・ 会務報告
- 19:50 レクチャー
「ヴォーリズとワイズメンズクラブ」
近江八幡クラブ 堀江 宏 YS
- 20:40 H・アニバーサリー&H・バースデイ
スマイル&すまいる
ドライバー委員会
山口 寛子
- 21:00 閉会点鐘
副会長 東 康彦
- 例会レポート 大黒 真佐実 YS

ん。感謝の応答として、せめてもの恩返しのため、
 1. ワイズメンとして、YMCAに協力します！
 2. YMCA・ワイズを通じて「世界の必要」を
 覚え続け、祈り、捧げます！
 3. ワイズ生活を存分に楽しみます！
 今後共、よろしくお願い致します。

例 会 出 席				B F ポイント		スマイル	
在 籍 者	17名	ビ ジ タ ー	0名	9 月	0	9 月 スマイル	5,000
内 広 義 会 員	1名	ゲ ス ト	0名	累 計	0	累 計	16,500
出 席 者	11名	メ ネ ッ ト	0名	10月のテーマ B F ・ E F			
メ ー キ ャ ッ プ	2名	コ メ ッ ト	0名				
出 席 率	81.3%	前 月 出 席 率 訂 正	81.3%				



9月第一例会

2014年 9月 9日

各事業について今一度学習



空には美しい十五夜、庭の虫の音も心地よく、すっかり秋らしくなって来ました。毎月おしゃれ上手な菅井会長の挨拶で始まりました。広島YMCAからの広島災害支援の協力依頼のメッセージが読み上げられ、我がクラブからも支援をすることになりました。

ビジターには近江八幡クラブの安田ワイズとゲストにリレー・フォー・ライフのしが実行委員長の谷本有佳子さんを迎えての例会です。9月は2013年度決算報告があり、無事に監査も終わり承認されました。本日のメインは4事業委員長によるレクチャーでそれぞれの委員長から説明があり、メンバーも役割について再度確認し事業がスムーズに遂行出来る様協力した

いと思いました。

安田ワイズと谷本有佳子さんから10月25日、26日に行われるリレー・フォー・ライフの協力依頼説明があり、がん征圧チャリティーイベントでびわ湖畔の自然に抱かれながらみんなが笑顔で「いのち」を見つめ、びわ湖からのパワーを全身で受けて24時間リレーウォークするイベントです。私たちも応援メッセージを書き協力したいと思います。

9月、10月はイベントが多く、メンバーはあちら、こちらと忙しいです。体に気をつけて頑張りましょう！

【 TEXT : Sachi ko Yamada 】



彦根クラブ例会に出席しました

びわこ部国際・交流事業主査
田中 紘

9月10日、彦根カソリック教会で行われた彦根クラブの例会に参加した。これは部長公式訪問の最終版で、小生としてはこれで今年度の国際・交流事業主査としてびわこ部のすべてのクラブの例会（大津と草津は合同）に参加したことになる。

新しく名付けられた国際・交際交流事業は過去のファンドと交流を合体した事業で、内容は大きく変わらない旨を説明し、今後の活発な活動を願った。BF やBEは従来通りの募金活動であるが、びわこ部各クラブのメンバーが漸減する中でIBC, DBCも大切だが、今はもっと身近なところのびわこ部内の7クラブが一体となって交流を押し進め、お互いに理解をしあうことが大切で、今まで接点がなかった他クラブの人達との出会い



により新たな発見を試みるとともにメンバー相互の絆を深めていくことが大切であり、これがワイズの発展につながると強調した。

が、実はこの日はやや皮肉なことに、彦根クラブはインドのイデラバードのワイズメンズクラブとのIBC関係にあり、つい先月（8月）に締結50周年を祝典に彦根クラブからは島野ワイズ、河原ワイズの両名が出席したばかりで、現地ではローカルの首相も出席して祝福するほど想像以上の盛大な式典が行われた。この事実は単に彦根クラブだけでなく、びわこ部にとっても、さらに西日本区にとっても価値ある歴史の一瞬で、大きな感動を覚えると西日本区の松本理事、国際交流の川本主任からも称賛の言葉があり、広くに西日本区のメンバーが共有すべきものとして発信していきたいとの連絡も受けた。

この式典およびJ C A C (Japan Center for Arts and Culture=日本芸術文化センター)の創設(現地で日本語学校設立を含む)の経緯について島野ワイズから報告があった。が、何しろ例会中の報告会では時間が余りにも短かすぎて詳しい内容が聞けなかったのが残念であった。しかし、これこそがワイズメンズクラブが国際的な奉仕団体であり、世界的な規模での交流が行われていることを実感させられた。

この相互の交流の一環として今度は11月にインド・ハイデラバードから5名のワイズメンズのメンバーが来彦の予定になっている。彼らにとって日本も、彦根城を見るのも始めてだろうが、ホームステイを通じて日本の美しさ、素晴らし歴史と文化、人々の優しさとおもてなしの心を存分に感じてもらい、交流がますます発展することを願いながら閉会の点鐘となった。

蒲生野クラブ東日本大震災義援金 2014年9末日現在 送料@130

前月までの献金	当月献金額	合計献金額	西日本区へ送金額	差引現在金額
9,497	1,997	11,494	11,494	0

第19回びわこ部部会

秋日和で天高く美しい琵琶湖を望む大津プリンスホテルで9月21日に第19回びわこ部部会が開催されました。

第1部は林俊博びわこ部部長の開会挨拶、聖書朗読、来賓祝辞等がありました。

第2部は東日本大震災や最近の集中豪雨被災地の広島、福知山や丹後等を踏まえながら、記念講演「まると地域防災」として関西学院大学、災害復興制度研究所、松田曜子特任准教授の災害・防災ボランティア活動からみた意味等でした。また「力仕事や釘を打っ



たりできなくても「おしゃべり隊」として、おばあさんの小さな悩みに応える事や、昔からの強い縛りを連想する隣近所3軒の共助でなく、もう少し広い緩やかな関係が重要ではないか...。」が印象的でした。



第3部は小・中学生による仰木太鼓で、初めて観ましたが難しいであろう太鼓の両側から息を合わせて揃い打ちをする太鼓は小さなさざ波のような打ち方から体にドンドン響く勇壮な盛り上がり等で見事でした。その後、我がクラブ会長の管井ワイズの食前感謝で美味しいディナータイムが始まり、アピールタイムでは近江八幡クラブと蒲生野クラブ全員が揃いのジャンパーで前に出て「ヴォーリス・メモリアルin近江八幡」をPRしました。

頑張って開催された大津クラブに感謝します。

参加者は、三原茂、三原静、井之上(温)、合志、管井、田中、西川、東、川橋でした。

【TEXT: Yoshie Kawahashi】

地球一周の旅

「地球一周の船旅」行って来ました -その3-

三原 茂靖

横浜を出航して35日目、私達二人と管井ワイズを乗せたピースボートはエーゲ海のミコノス島からピレウス港(共にギリシャ)に着岸しました。



ピレウスではアクロポリスのバルテノン神殿の世界遺産を観光しました。そびえる高い円柱、石組で造られた建物あと、今も修復作業が行われている神殿など、その歴史の濃厚さと、スケールの大きさに驚かされました。

私達はアテネのバルテノン神殿を後にし、空路でギリシャからローマ、ヴァチカンへと進み、夕暮れにローマ着きました。早速バスでコロッセオの外観ではあるが視て回りました。夕日が刻々と建物の表情を移しかえ、すばらしい光景の時間を過ごし、夢のようでした。

中学校の社会の本で見た様な景色で、私達はしばらくベンチに腰を下ろし遺産を鑑賞しました。



その夜には予約されていたレストランで、カンツォーネを聴きながらイタリア料理を満喫いたしました。昨夜のカンツォーネの余韻が沢山残っている朝に私達はバスでトレヴィの泉にいきました。想像したより広く、彫刻も大きく、そのスケールの大きさと荘厳さに心が動かされました。とても素敵でした。また、スペイン広場の階段にも時間をかけて楽しむことができました。その後、バスは市内観光をしながら、ヴァチカン博物館に到着。



大勢の観光客で入場制限の順を待っていよいよ入館しました。そこは何百年前にタイ

ムスリップした絵画や、織物、彫刻でいっぱいでした。壁画、天井画どれも超一級の作品ばかりで、頭の中が混乱する位すばらしいものでした。

続いてサンピエトロ寺院に入り、多くのキリスト関係の聖画や彫刻を鑑賞いたしました。神父さんがミサが行われる広大な広場や聖堂を見学しました。建物。絵画、彫刻、織物、中庭、広場など、どれを観ても感激するばかりでした。やっぱり歴史の国、イタリア特にローマはすばらしかった。

翌日ローマから空路にてバーリの港に行き、私達は船上の人となりました。

船はイタリアのバーリを出港し、アドリア海を北に、クロアチアのドブロブニクに停泊、そこからモンテネグロのコトルに入港しました。4月20日この日はイースター礼拝日です。この小さなフィヨルドの港町には数多くの教会が建てられていた。イースターエッグを玄関に飾っている教会。厳粛なミサを執り行っている教会。(聖ニコラス教会1909年)山の中腹に1518年に建てられた聖母教会。歴史の深いすばらしい町でした。私は今まで体験した事がない、イースターの日であった。山の方には天使が大勢舞っている姿が思いうかべられ、私にとって忘れる事のできない出逢いの場でした。



フィヨルドの一番奥にある港。氷河で削られた山々、オレンジ色の屋根、谷間からごうごうと湧き出る水、そして教会堂と塔、石畳の小径、何と云うすばらしいところかと、感激のうちに立たづんでいました。

船は黄昏のころ対岸の町々の明かりを後ろにし、ゆっくりアドリア海を南下しました。甲板の柵に寄りかかり、二人にはゆっくり、ゆったりした時間が過ぎていました。昨年までの仕事のご褒美として与えられ104日間のすばらしい船旅の1日とイースターの1日でした。

船は地中海からスペインに向かい航海しています。スペインではアルハンブラ宮殿とヘネラリフェ庭園を見学、アルバイシン徒歩散策をいたしました。いよいよ東の日本を出発して私達はヨーロッパの西、海峡の国ジブラルタルに来てしまいました。対岸にアフリカ大陸が見えます。もうこの先は大西洋です。次回はカリブ海からの旅を紹介いたします。

ワイズの 〇

280



さんだクラブ

安岡 英文

われわれは個人個人が大心と、愛を持って今後もワイズとYMCAを支えて行こうと思う。禅語に、「所謂大心とは、其の心を大仙にし、其の心を大海にし、遍無く党無き心なり。両を提さげて軽しと為さず、釣をあげて重しとすべからず。春声に引かれて春沢に遊ばず、秋色を見ると雖も更に秋心無し。四運を一景に競い、

今回は、神戸学園都市クラブの会長の杉本隆人ワイズを紹介します。



鉄両を一目に視る。是の一節に於いて、大の字を書すべし。大の字を知るべし。大の字を学すべし。」とある。「いわゆる大心とは、大山のような高く大きな心、大海のような広く深い心を持ち、一方に偏った考えをせず、ひとつの思いに固執することのない、おおらかな心を使う。一両ほどの軽量をさげても軽いとあなどらず、一鈞という重量をさげても重いとひるんではなりません。四季の変化を一つの景色の中に思い浮かべ、とらわれることなく、わずかな重さもひと目で見抜く。こういう心をもって大の字を書き、大の字を知り、大の字を学ぶべきであると、謳っている。

イエスがロバに乗ってエルサレムに進んだ日、人々は手に手に棕櫚の葉を持ち、イエスが進む先に敷いて、ホサナ、ホサナと叫んで、ローマを率いて正義を実現する強い指導者としてのイエスを期待し歓迎したが、しかし、その後イエスが語った言葉にはそんなものは一言もなく、「互いに愛し愛なさい」と他者を生かすことへの教えと、出会うひとり一人を愛し続けたイエスの姿があります。時を超えても他者を愛し生かすことに徹しようとするイエスの正義は、今後もワイズメンズクラブと神戸YMCAのやはり基礎とすべきことでありましょう。

蒲生野のつどい

「秋の夜長、気楽なおしゃべり会」

記 菅井恵子

秋爽やかな9月15日(月)日頃、時間に追われゆっくりおしゃべり出来ない不足を補おうと、急遽呼びかけた集まりでしたが、田中事務所に集まりました。井之上R、田中、川橋、合志、三原静、八幡クラブゲスト安田、菅井の7人です。

一人一品持ち寄り、ちらしずし、南瓜の煮物、琵琶湖のうろり、なすの煮びたし、豆乳鍋、デザート、スイーツ、飲み物(もちろんアルコールも)と、テーブルには秋の花も添えられ、音楽は、懐かしのメロデーのかずかずが、雰囲気盛り上げます。とってもおいしいごちそうに、まずは食欲を満ちし、おなが満足すれば、おしゃべりの口も大いにゆるみ、音楽の話、旅の話、ダンスの話、身体健康の話、果ては、歴史宗教の話まで正に放談・・・ワイワイと久しぶりに愉快的な夜でした。 いままで、TOF例会や第2例会で使用



させていただいていた田中事務所の右側の部屋はテナントが決まりそうで、この会をもって、蒲生野クラブの使用は、使いおさめ打ち上げとなりました。これまでに感謝です。

六甲部部会に出席しました

9月に入っても雨の日が多かったのですが、この日は久しぶりのいいお天気に恵まれました。10時半開会という早いスケジュールで自宅を出たのが7時半でした。会場はJR西宮駅からバスで15分、関西学院会館で定刻通り140名あまりの出席者のなか始まりました。

多胡部長の開会あいさつ・点鐘に始まり六甲部クラブバナーの入場がありました。一部の中で献金があり、東日本大災害・広島土砂災害に捧げられました。

2部は、関西学院大学の武田 建 名誉教授の「心の育ち方・育て方」講演がありました。ご自身の体験や生徒との接し方についてユーモア溢れわかりやすいお話でした。その最後に、ガルウェイの言葉として「イメージは言葉にまさり、示すことは教えることにまさり、教え過ぎは教えないことより劣る」を示されましたが、武田教授のお話は、まさにこのことでした。

3部は、待ちに待った懇親会(?)。宝塚クラブ恒例のフラダンスからスタートです。12月我がクラブのクリスマス例会に来ていただける石田由美子YSの愛弟子である関西学院大学フラチーム マハロによるキュートなダンスが披露されました。今期、我がクラブの恒例になりつつある「花は咲く」は、参加者も一緒になって楽しみました。最近の部会にしては珍しく立食でしたが予算も軽く納得いくものを感じました。

アピールタイムに、浅岡YS始めに近江八幡クラブの参加のみなさんと一緒に、10月の「ヴォーリス・メモリアル in 近江八幡 W.M.ヴォーリス没後50年記念企画展」をアピールでき、参加の方々もとても興味を持っておられたのが印象的でした。ちなみに関西学院大学は、ヴォーリスの建築だそうです。

【 Text Atsuyo Inoue 】

クラブ名	第一例会	第二例会
近江八幡クラブ	11日	
彦根クラブ	8日	
彦根シャトークラブ	9日	23日
長浜クラブ	2日	16日
草津クラブ	21日	
大津クラブ	11日	
滋賀蒲生野クラブ	14日	② 7日

HAPPY ANNIVERSARY

18日 西川みち子
26日 東康彦

HAPPY BIRTHDAY

24日 今田 琢也



～ 9月役員会報告～

2014年9月2日 田中Office 19:30～21:30

出席者：菅井・東・合志・田中・三原茂・川橋
・三谷・山田・三原静・大黒

【例会関係】

9月例会 9月 9日(火) HNO 19:00～21:00
(担当：地奉・環)「ワイズ各委員会勉強会」
4委員長からのレクチャー 各10分

10月例会 10月14日(火) HNO 19:00～21:00
(担当：Yサ・ユ)

「ヴォーリスとワイズメンズクラブ」
近江八幡クラブ堀江宏氏講演
9/21 びわこ部会 チラシを配布

11月例会 11月11日(火) HNO 19:00～21:00
(担当：国際・交流) 世界一周報告会
三原茂・三原静・菅井

【クラブ関係】

- ・きぬがさ作業所奉仕 9/6
- ・きぬがさ祭り 10/26 協賛金承認
- ・Y'サ事業委員会 ヴォーリス記念事業
打合せ9/16 9/20 担当 菅井・三原茂
アンドリュウ記念館担当割について
- ・クラブファンド じゃがいも&かぼちゃ
9月例会で申込み

【YMCA関係】

- ・夏キャンプ終了。感謝会：台風で中止。

【びわこ部関係】

- ・9月21日(日) びわこ部部会大津プリンスH
出席9名 補助承認
メネット会 9:30～
- ・10月9日(木) びわこ部YYフォーラム
pm 1時～ 近江八幡教会
- ・11月15日(土) EMCシンポジウム
2時～4時 湖北勤労会館
- ・部EMCシンポジウムにむけて
京都トップスクラブ例会見学9月10日(水)
- ・ポーリング大会 11/30(日)

【西日本区関係】

- ・広島土砂災害献金・・・9月例会にて
- ・9/6 六甲部会出席 井之上A

次回役員会 10月7日 19:30～21:30 田中Office



広島緊急支援募金・ 国際協力募金のお祝い

8月に広島で起こりました豪雨被害に対しまして、緊急支援募金を行います。広島市の災害支援活動を支え、また被災者の方々の心に添う支援活動を行います。募金はYMCA受付にてお預かりいたします。

また、10月より国際協力募金活動キャンペーンを行います。世界で支援を必要としている子どもたちのための活動や難民支援など、その他、世界で活躍できるグローバルな人材育成にも取り組みます。詳細につきまして後日別途ご案内させていただきます。ご協力よろしくお祈りいたします。

広島緊急支援募金 期間：10月31日(金)まで
国際協力募金 期間：10月～3月末

リーダー登山研修

9月10月になるとこの季節ならではの研修があります。1泊2日の泊りがけで白山(石川県)に3年目4年目のリーダーが登山研修に出かけました。ルートの確認から登山での食事の管理、服装について事前研修を行い、当日はグループに分かれて登山を行いました。OPリーダー数名が同行し、登山についてのノウハウを学びながら行いました。夜は流れ星が見え、朝はご来光を見ることができた良い天気でした。この研修は、通常の例会や夏休みの特別例会での登山に向けて行っております。技術だけでなく、1泊2日の全ての道具を担いで登るため体力も必要となり、また個人によって登山経験も違うためお互いに助け合うチームワークも必要となります。この研修を通し自然の素



晴らしさ、また登山の楽しみ方・準備方法を学び、子どもたちとの活動で活かしてほしいと思います。

予定

- * 10月11日(土) YMCA記念日
- 11～12 リーダー登山研修
- 13日(祝) 彦根元気フェス参加
- 15日(水) YMCA評議員会
- 18日(土) 八坂農園さつまいも収穫
- 25日(土) 冬期プログラムリーダー理論研修
- 26日(日) 音楽倶楽部発表会
- 27日(月) 冬期プログラム受付開始
- 10月11日 YMCA記念日は全館休館。

From Edito 御嶽山が突然噴火しました！火山灰や落石で死亡や大けがを…。思いだすのはイタリアのポンペイ。火山の噴火で埋もれた街でした。こういった災害になすすべもなく弱い我々。毎年山に登る身として災害に会われた方々の恐怖は、計り知れません。無事を祈るばかりです。